

あなたとつながる長崎のまち

ながまきのふくし

12

2022

vol.23

特集

福祉教育のこれから
「一人ひとり、違っていい」ことを
学ぶ教育へ

- 社会福祉法人の地域貢献 … 5
- 共同募金/カネマツコラム … 6
- 災害ボランティア入門講座 … 7
- 長崎県社協表彰/寄付お礼



おはなしに夢中

現在大村市を中心に 30 名で活動している『えほん侍』。絵本の読み語りを通じて、父親が家庭内に染み入る暖かい存在となること、『えほん侍』が地域コミュニティへの新しい入り口として誰でも参加できるサードプレイスになることを目指し活動しています。



発行：社会福祉法人長崎県社会福祉協議会
この広報誌は共同募金の配分を受けて発行しています

長崎県社協ホームページで
記事関連情報をご覧ください



「一人ひとり、違っていい」人とを学ぶ教育へ

長崎県社協では、2021年度から「ともともプログラム」（地域共生共育実践プログラム開発・推進事業）という福祉教育を進める取組みに力を入れています。そこで同事業のアドバイザーを務めて頂いている鎮西学院大学の岩永准教授に、お話を伺いました。

「これから福祉教育が大切と変わっていますね。」

岩永 SMAPの「世界に一つだけの花」という有名な歌に、*「世界に一つだけの花一人一人違う種を持つその花を咲かせることだけに一生懸命になればいい」や「No.1にならなくてもいい もともと特別な Only one」というフレーズがありますよね。これは「多様性」とか「個別最適化」を、わかり易く表現していると、私は思っています。

「多様性」とは一人ひとり違うことで、最近では「ダイバーシティ」といったカタカナを使う人もたくさんおられます。そして、教育の世界のホットなワードの一つが「個別最適化」です。

「「個別最適化」、ですか？」

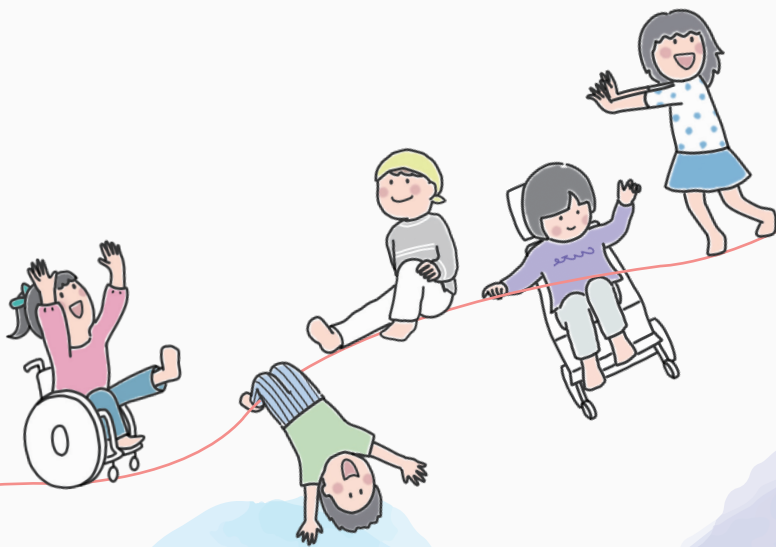
岩永 はい。これは、「一つ一つ違う種は、それぞれ Only one」

なんだから、「それぞれの種に合った育て方」、つまり「個別に最適な方法で花を咲かせてあげましょう」という意味とも言えるはずですよ。

日本人は、昔から稲作中心の農耕民族だったので、勝手なことはせずにみんなでルールを守り、田に川の水を引いて米を作ってきました。もちろんそれは素晴らしい文化なのですが、その反面、「個性」や「多様性」が許されないこともたくさんあったはずですよ。

「例えばどんなことでしょうか？」

岩永 例えば、「農家の長男が家を継ぐ」とか「女性は四年制大学には行かずに、短大を出て就職をし、結婚や出産をしたら退職して専業主婦になる」、「同性婚は認めない」、「結婚したら女性が姓を変える」等等、挙げていくときりがありません。時代が変わるに連れて私たちは「一人



特集

福祉教育のこれから

ひとりが世界に一つだけの花であること」に気づき始め、「多様性」や「個別最適化」が注目されるようになりました。

「多様性」や「個別最適化」の価値観を小さい頃から育てる必要がありますね。

岩永 そこで登場するのが「福祉教育」なんです。車いすの押し方や手話のスキルを覚えることも大事なんですけど、「一人一人、違う種を持っている」、つまり「一人ひとり、違ういいこと」を学ぶのが「福祉教育」だとも言えます。

「福祉教育はこれまで学校を中心に展開してきたように思いますが、それはなぜでしょう？」

岩永 「学校」という特別なシステムを使うことが、とても効果的だからです。

例えば、長崎市で育つ子どもたちは、ほぼ全員が長崎市立の小学校に入学します。そのため、市立の小学校で、例えば「4年生の時にこれをテーマにして1年間、総合学習の時間に学ばせましょう。」と決めたら、長崎市で育つ子どもたちに確実にそのテーマの教育ができるはずですが、それは義務教育の賜物なんです。

同時に、子どもたちなのでどんなテーマでも先入観なく理解してもらえ、メリットも学校にはあります。

「確かに義務教育なので、みんなに同じことを教えられますね。」

岩永 社会人の方に何かを学んでもらうには、市民講座のようなものを開くことが多いですよ。しかし、その講座に来られるのは、そもそも興味のある方や生活に余裕がある方に偏りがちで、リピーターが多いのも特徴です。一方、小中学校は、そのエリアの子たちが毎年入学して卒業していく、いわば「入れ替わり制」といえます。そのため「4年生で福祉教育をテーマにして、5年生で環境教育をテーマにする」と決め、同じ授業を毎年繰り返せばよいことになりません。それは、授業を受ける子が確実に入れ替わるからで、実は学校にはそんな特徴があるんです。

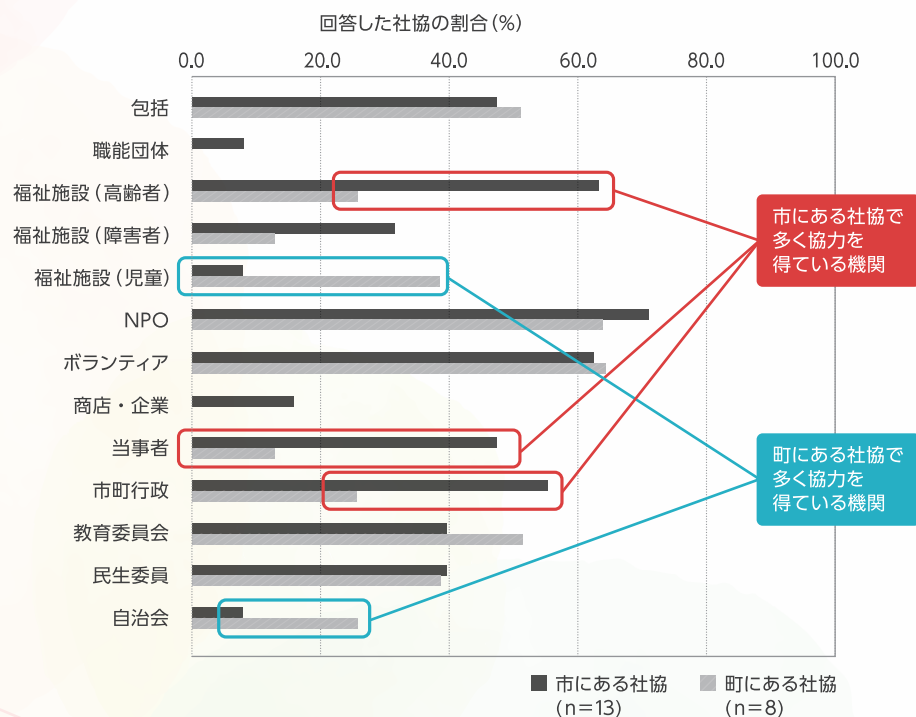
これまで福祉教育が学校を中心に進められてきたのは、おそらくそういった背景がある、と私は考えています。とはいえ、学校の先生方も多くの悩みを抱えておられます。それは、長崎県社協の調査でも、はっきりしました。

県内の全ての小中学校や市町社協に対して、福祉教育の現状や悩みを

尋ねたアンケート調査ではたくさんの方がわかってきました。例えば、「市」にある社協と「町」にある社協とで、それぞれの福祉教育の協力機関を比べてみました。すると、高齢者施設、当事者の方や行

政から協力してもらっているのは、「市」にある社協の方が高い割合を示していました。一方で、児童施設や自治会から協力してもらっているのは、「町」にある社協の方が断然多いことも判明しました。(表1)

表 1：市町社協が福祉教育の協力を得ている機関



―学校の調査はいかがでしたか？

岩永 もっと多くのことがわかりました。例えば、「市」にある学校と「町」にある学校とで、福祉教育の授業を比べてみたところ多くの点で違いが見つかりました。

例えば、福祉教育の授業で「社協職員の講話」を希望していたのは、「市」にある学校が4割以下でしたが、「町」にある学校は5割以上でした。そして、学外の方と福祉教育について検討されているのは、「市」にある学校が3割程度でしたが、「町」にある学校が5割以上もありました。

また、福祉教育で「視覚教材」の活用を希望していたのは、「市」にある学校が2割程度でしたが、「町」にある学校は4割近くでした。他にも、「先生方は、福祉教育の研修会を希望するか」を質問したところ、「市」にある学校が1割程度でしたが、「町」にある学校は3割近くも研修会を希望していました。(表2)

一方で、福祉教育による変化のうち、「福祉教育の必要性が理解できた」や「外部組織との連携の重要性がわかった」、「学外とのつながりができた」といった答えは、「市」と「町」の両方で数多く見受けられました。

表 2：福祉教育に関する市の学校と町の学校との違い

| | 市にある学校 | 町にある学校 |
|----------------|---------|---------|
| 社協職員の講話 | 希望は4割以下 | 5割以上が希望 |
| 学外協力者との福祉教育の検討 | 希望は3割程度 | 5割以上が希望 |
| 視覚教材の活用 | 希望は2割程度 | 4割近くが希望 |
| 教員の研修会 | 希望は1割程度 | 3割が希望 |

―調査結果を市町の社協や学校で活かしてもらいたいですね。これから福祉教育はどのようになっていくと先生はお考えですか？

岩永 これまでのように、単に障害者や高齢者の状況を体験するだけのプログラムから、体験での「気づき」を文字や言葉にする(視覚化する)プログラムに変わりつつあります。ここでポイントとなるのが「体験を振り返る機会」です。プログラムに参加した人が体験を振り返ることで何かに気づき、それを文字や言葉にすることを「リフレクション」と呼びます。この「リフレクション」は、福祉教育だけでなく、大学や小中学校のあらゆる分野で高い関心を集めています。

―最後に「ともともプログラム」のこれからの展開と意思をお聞かせください。

岩永 ともともプログラムは今年で2年目ですが、令和4年3月に「長崎で福祉教育を進めるための基本方針」を研究委員会でまとめることができました。そして、8月に長崎県社協が「福祉教育推進員養成研修」を開いたところ、40名の方が参加されました。

今後は、そのような研修を受講された方々が、それぞれの地域に合った福祉教育を展開していけるようにサポートします。また、研究委員会を開催し、基本方針の検証や今後の福祉教育の推進について協議を続けていく予定です。私も微力ながらそのお手伝いができればと考えています。

岩永 耕氏

13年間ボランティアコーディネーターやソーシャルワーカーとして勤めた諫早市社協を2012年に退職して大学院博士課程に進学。

2015年に長崎ウエスレヤン大学(現鎮西学院大学)現代社会学部 基盤教育センターに助教として就任。2018年に准教授となり現在に至る。博士(社会福祉学)、社会福祉士。研究テーマは、一人暮らし高齢者の孤立防止やふれあいいきいきサロンへの参加の効果測定等。



※〈歌詞引用に伴う表記〉

著作権法四八条一項一条 作詞者 槇原敬之(2003)「世界に一つだけの花」

社会福祉法人の 地域貢献

第11回

社会福祉法人は、福祉サービスの利用者だけでなく、地域に暮らす人びとの「生きる」を支えています。社会福祉事業にとどまらない、地域のニーズに応える取り組みを紹介いたします。

社会福祉法人 春秋会

長崎市の少子高齢化により地域の機能が衰退している現状に危機感を感じ、自社の専門職がチームとなり、地域の福祉向上を目的とした「よろずカフェ事業」を実践。



本格的なコーヒーを飲みながら、会話の中から様々な「不安」を感じ取る

地域に相談先は多くありますが、公的な相談先に駆け込む時、状況は既に切迫しており直ぐに支援が必要という場面も少なくないのではないのでしょうか。私たちもまた、地元で26年間、介護や福祉事業を経営する中で、その「相談の重度化」を多く経験しました。それ故、何気ない日常で気軽に相談できる機会や空間、関係があれば相談の重度化を減らすことができるとは思えないかと考えたのです。

よろずカフェは「ふらっと寄れるカフェに行ったら、そこに専門職」がコンセプト。社会福祉士やケアマネジャー、看護師や理学療法士などが関わりました。

彼らは、専門職としてでなく、一人の地域住民としてそこに住む人々と交流し、笑顔を交わし、信頼を共有することで、自分らしく暮らせる街づくりができればという想いでこの事業を展開しました。今それはSDGsの11番「住み続けられる街づくり」という世界

基準の目標とも共有できていたのだという事を感じます。

よろずカフェは自社カフェで開催しました。私たちは、介護福祉事業以外に一般飲食事業のカフェも経営しています。交流の場を創ろうとする時、本格的なコーヒーを提供する環境も重要で、それが後に「コミュニティビジネスとしても確立すれば有用な地域資源となると考えています。

参加された地域住民の方々からは多くの不安をお聞きするようになりました。たとえば、認知症への不安、財産処分など終活への不安、街のゴミ収集の問題や、空き家や独居高齢者の孤独死の問題などで、住民の方々が抱える様々な不安を直接お聞きする事が出来ていきます。私たちが即座に解決できる訳ではないのですが、よろずカフェを通じて聞けた地域の不安を、私たちが広く社会に発信することで「街の課題の解決に向けた「協働の一步」にはなったと感じています。

コロナウイルスの影響で活動を制限され数年が経ちます。笑顔を交わしたくてもマスクを外せない世の中が続く今にも危機感があります。感染の影響でカフェは休止中ではありますが、制限が解除、集まれる日が来たら、また私たちのカフェスペースで、小さく可愛い「よろずカフェ」を開催したいと考えています。

(執筆・同法人川副巧成理事長)



社会福祉法人春秋会
ホームページ



SDGs
(Sustainable Development Goals)
についてはこちら

歳末たすけあい運動が始まりました。

運動期間

12月1日～25日

「つながりささえあうみんなの地域づくり」をスローガンに歳末たすけあい運動が始まりました。

新型コロナウイルス感染症の影響により高齢者や障がい者、子ども、生活困窮者等への支援の必要性は益々高まっています。今年の県内の目標額は5千万円で、募金の主な使途は、

- ① 社協が行う年末見舞金品の贈呈事業や食事サービス等各种福祉サービス事業
- ② 児童養護施設等に対する就職・進学支度金助成事業
- ③ 社会福祉施設の福祉車両(車いす仕様等)整備事業
- ④ 食料配布等生活困窮やコロナ禍による支援を行う団体等の事業費
- ⑤ 火災等小災害見舞金や地震や台風等災害発生時のボランティア活動支援事業費の助成

を計画しています。

今年も皆様方の温かいご理解とご協力をお願いいたします。

今年もテーマ型募金にご協力を

多様化・複雑化する社会課題の解決や地域の福祉課題に取り組む団体が、活動の趣旨を広く県民に啓発し、各団体の活動に必要な資金を募集するテーマ型募金を来年1月から5団体が実施します。皆様方の温かいご協力をお願いいたします。



詳細は長崎県共同募金会のホームページで！



問

社会福祉法人長崎県共同募金会
☎ 095・846・8682

新連載 カネマツコラム

第2回 人間の尊厳

「介

護の仕事はいかがですか」と職員に問いかけると、8割の職員は、「介護の仕事は体力勝負で利用者の要望に応えるために一瞬たりとも心が安まる時がなく夕方は疲労を感じます」といいます。

「そんなにきつい仕事をなぜ続けるのですか」と尋ねると、「利用者からの感謝とねぎらいの言葉で、明日も頑張ろう」という気持ちで湧く」といいます。

おむつを当てた寝たきりの利用者は、「ありがとう」という感謝の言葉や表情で職員を力づけ励ますという素晴らしい仕事(役割)をしているのです。

他者の役に立ちたいという欲求は全ての人が持つ欲求ですが、介護度や障害が重くても、その存在を認められ、そこにいることを無視されないことで尊厳を維持できるのではないのでしょうか。

利用者の心や感情に寄り添った関係を深めて行きたいです。利用者や

この仕事がつまらないと思う職員がいたら、あなたの生き方がつまらなくなるのです。

信頼関係を深めるためには、利用者一人ひとりを深く知る事が大切になります。利用者の介護度や障害支援区分のみに頼らず、気持ちをくみ取れる職員を目指して頂きたいと切に思います。



イラスト：小林安奈



金松敏信(かねまつとしのぶ)一障害児者施設で指導員として30年勤務した後、2015年まで長崎女子短期大学教授として学生を指導。現在、長崎介護実践研究所代表として福祉に関わる人々を支える活動を行っている。

カネマツ先生が、福祉現場や福祉の教育現場、地域での支援に携わる中で得た、ふとした気づきを、現役職員のみなさんにコラムでおすそ分けします。

はじめての災害ボランティア入門講座

(9/10 長崎県災害ボランティア連絡会)

災害ボランティアの経験がない方を対象に、長崎県災害ボランティア連絡会(事務局:長崎県社協)が長崎市社協と共催し、学生も含め20名が参加しました。

災害や災害ボランティア活動の基礎知識と心得について、長崎県社協・野瀬氏が説明。その後、水害時想定災害ボランティア活動についてグループで意見を出し合いました。

災害ボランティアセンターの疑似体験では、受付から活動報告まで、一連の流れを体験しながら、二重票をもとに、実際の活動内容と被災者の心情について理解を図りました。

講座終了後の座談会では、受講の感想や今後やってみたいこと等を語り合い、「ライオンズクラブ会員向けに入門講座を実施したい」「災害ボランティアは泥かきのイメージが強かったが、体力がなくても活動できることがあるとわかった」といった声がありました。



疑似体験の最後は「活動報告」。文字や言葉に出ていない被災者のホンネもあることを受講者に紹介。

災害ボランティア連絡会は、災害ボランティアの円滑な活動や、そのための関係団体の連携・協力を促進するための団体で、登録会員を常時募集中です。詳しくはQRコードからご覧ください。



寄付御礼



● 時津町職員組合様

皆様からの寄付金及び寄付物品は、長崎県社協の事業活動を推進するうえで大きな支えとなっております。

長崎県社協会長表彰のご案内

令和4年度は、12団体・333人の方が受賞されました。社会福祉事業に従事または協力し、功績を残した方々を長崎県社協のホームページに紹介しています。受賞された皆様、おめでとうございます。



問

長崎県社協 総務企画課
☎095・846・8600

寄付・表彰については、長崎県社協のホームページで!



あなたの側で、暮らしの中で、健康維持・増進に積極的な貢献をしたい

家庭常備薬等のご案内をご利用ください。

事業内容

- 医薬品の販売
- 医薬部外品及び化粧品品の販売
- 嗜好飲料及び栄養補助食品の販売
- 計量器、医療器具、医療機器、衛生材料、健康食品、スポーツ用品等の販売
- 生活習慣病等の予防の為にセミナーの企画・開催



家庭常備薬の中で役立っているBEST3は?

救急箱



感冒薬



解熱鎮痛剤



絆創膏

(当社H28年度アンケートより)



白石薬品株式会社

本社 〒567-0005 大阪府茨木市五日市1丁目10番33号
TEL 072-622-8500 FAX 072-622-8510

大阪営業部 〒578-0954 大阪府東大阪市横枕12番19号
TEL 072-961-7473 FAX 072-961-7680

東京営業部 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目1番13号
第7大銀ビル4F
TEL 03-5827-4614 FAX 03-5806-2057

九州営業所 〒922-7411-8952 札幌営業所
TEL 092-741-8952 名古屋営業所

株式会社ワイズ

〒567-0005 大阪府茨木市五日市1丁目10番33号
TEL 072-622-7440 FAX 072-622-8510

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

| プラン | | 基本プラン | 天災・地震補償プラン | [新設]特定感染症重点プラン |
|---------|------------------|-----------------------|------------|----------------|
| ケガの補償 | 死亡保険金 | 1,040万円 | | |
| | 後遺障害保険金 | 1,040万円(限度額) | | |
| | 入院保険金日額 | 6,500円 | | |
| | 手術保険金 | 入院中の手術 | 65,000円 | |
| | | 外来の手術 | 32,500円 | |
| | 通院保険金日額 | 4,000円 | | |
| | 特定感染症 | 補償開始日から10日以内は補償対象外(*) | | 初日から補償 |
| 賠償責任の補償 | 地震・噴火・津波による死傷 | × | ○ | ○ |
| | 賠償責任保険金(対人・対物共通) | 5億円(限度額) | | |
| 年間保険料 | | 350円 | 500円 | 550円 |

商品パンフレットは
コチラ



(ふくしの保険
ホームページ)

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆**年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。**
例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

〈SJ21-10723より抜粋して作成〉

